

2021年11月22日

<各位>

ナノキャリア株式会社  
 代表取締役社長 松山 哲人  
 (4571 東証マザーズ)  
 問合せ先 IR担当 土屋 千映子  
 電話番号 03-3241-0553

機関投資家・アナリストとの対話における事業活動説明は概ね好評  
 2022年3月期第2四半期決算説明会 質疑応答

当社は、2021年11月15日に機関投資家・アナリスト向けに2022年3月期第2四半期決算説明会を開催いたしました。当日および説明会以降の個別取材においても活発な質疑応答が行われ、経営体制変更に伴う成長戦略の改革が着実に進んでいること、および、複数の後期ステージパイプラインの順調な進捗と今後1年以内のイベントが豊富な点について期待が持てるなどの意見をいただいております。

引き続き、成長戦略として掲げる3つのポイントである「①後期臨床開発に集中 ②核酸医薬を推進 ③M&Aや提携の推進」を推し進め、企業価値向上に向け収益化を重視した活動を積極的に推進してまいります。

下記によくあるQ&Aとして共有いたします。

	質問	回答
1	ENT103の収益目標を教えてください。	既存点耳抗菌薬の置き換えとなるため、ピーク売上として十数億円程度は狙えると考えています。耳鼻科領域のスペシャリティファーマであるセオリアファーマが確立している流通網を利用できるので、販売数は見込めると考えています。
2	東証の市場再編に伴い売上高の基準が廃止されますが、当社におけるENT103の位置づけは変わりますか？	経営基盤に貢献する製品としての位置づけは変わりません。
3	セオリアファーマとの契約内容は開示しないのですか？	販売体制などについて、セオリアファーマと現在検討中です。
4	NC-6004は結果取得後ライセンス予定ですが、既に複数社と秘密保持契約下で交渉中であると考えてよいでしょうか？その場合は、来年に契約となりますか？	秘密保持契約下でお話させていただいている企業は複数ありますが、やはり結果が出た段階で本格的に交渉となります。トップラインが来年度後半にでる見込みなので、早くても来年度終わりごろ以降かと考えています。

5	NC-6300 の ASCO での結果発表後のアップデートはありますか？ NC-6300 は良い結果を得ていると思いますが、現場の評価としては厳しいのでしょうか？	希少疾患のなかでもさらに患者数が少ないのでライセンスには工夫が必要であると考えていますが、秘密保持契約下で複数社と交渉しています。ASCO で結果を発表しており、その後のアップデートはありません。
6	ミセル化ナノ粒子の DDS 製剤としての将来性について、経営方針と併せて考えを聞かせてください。	経営方針にある通り、後期ステージにある臨床試験中の NC-6004 頭頸部がんにつき、アキュルナ社から継承した mRNA など核酸医薬にも活用され、用途が広がっております。
7	VB-111 は PFS の結果取得が 2022 年に予定されていますが、2022 年に承認申請の可能性はありますか？	VBL 社と FDA の協議により主要評価項目が 2 つになり、PFS 結果取得時期は 2022 年後半になる見込みです。

2022 年 3 月期第 2 四半期決算説明会資料は下記よりご覧いただけます。

<https://pdf.irpocket.com/C4571/gk0G/aWgr/bAjb.pdf>

以上